

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		和田 浩二	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	学部の担当科目(食品分析学、食品科学、食品機能科学実験Ⅰ、セミナーⅠ・Ⅱ等)では、基礎的な内容とともに、関連する研究成果も含めた実践的な授業を行う。大学院担当科目(食品分析学特論)では、プレゼンテーション技術の指導を取り入れる。また大学院生TAの有効活用を図る。食品関連の資格(食品衛生監視員及び食品衛生管理者任用資格、健康食品管理士受験資格)の取得や現状について学生に講義やセミナーを通して指導する。			0.35	学部担当科目はシラバスに沿った授業を行うとともに、食品分析学および食品科学の講義の中では、沖縄特産品である黒糖やシークワサーに関する研究成果を紹介し、より専門的な観点から講義を行った。食品機能科学実験Ⅰでも地域の特産品である泡盛を実験材料のひとつとして用いた。また、食品分析学の初回に食品関連の資格の概要について説明を行った。大学院の演習では課題を与え、作成したスライドによるプレゼンテーションを実施した。また大学院生(博士課程と修士課程)4名を実験、演習、セミナー、卒業論文のTAとして、教育補助に活用した。		
研究	0.35	研究室所属の大学院学生、博士研究員および学外共同研究者と共に研究論文の採択を目指す。学会発表ならびに関連学会の運営に協力する。県内試験研究機関と受託研究(外部資金)を行い、実社会にも応用できる技術の開発に努める。			0.35	博士課程学生、技術職員および学外の共同研究者との研究成果が国際誌に3報、国内誌に1報掲載された。国際学会1件、国内学会で3件の発表を行った。また外部資金等としては沖縄県の試験研究機関との共同研究3件で食品関連を中心に研究を実施した。		
社会 貢献	0.10	専門分野における学外委員会に参画する。これまでの共同研究の成果を講演会やセミナーなどで公表し、社会貢献を行う。			0.10	学外委員として、沖縄県試験研究評価会議・個別評価部会、日本食品安全協会理事会等に参画した。産業支援としては、平成29年度西日本食品産業創造展(マリンメッセ福岡)において「黒糖の長期貯蔵によるフレーバー特性の変化とその特性利用の可能性」についてセミナーを行った。		
管理 運営	0.20	全学的には農学部評議員や農学部教育委員長、学部では農学部副学部長や各種委員としてそれぞれの組織の管理運営に参加する。			0.20	全学的には農学部評議員として、大学の組織の管理運営に携わった。学部では農学部副学部長、教育委員長および各種委員会委員として学部の管理運営にあたった。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上地 俊徳	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.50	担当授業(学部:食品衛生学、免疫臨床化学、大学院:生物資源利用科学特論など)をとおして大学生、院生にふさわしい知識、技術を教授し社会に役立つ人材育成の一翼を担うべく努める。なお講義などでは常に最新の情報なども提供できるように配慮する。学生支援面では、就職、進学を問わず、研究室所属学生の希望が達成できるように全面的に支援協力する。特に就職活動が忙しい時期はそれに集中できる環境を整えてあげる。			0.50	本年は私の定年退職の年でもあるが、学部及び大学院(修士)課程において、それぞれほぼ予定通りのスケジュールで業務を実施できた。講義内容については身近な研究課題や最新情報などを交えて提供した。受講生の専門知識はレベルアップしたと思う。本研究室所属の女子学生の就職先が3名とも決まり(100%)、何にもまして嬉しく思う。		
研究	0.40	卒論研究が活動の中心となるが、3人の本研究室所属学生は3人ともが就職希望であり、勉強と研究に費やす時間配分をバランス良くして希望が叶うように支援したい。その他には、昨年度よりスタートした農水省委託プロ「地域の農林水産物/食品の機能性発掘のための研究開発」のメンバーの一員として今年もその一翼を担う予定(5年計画の2年目)。			0.40	本年は私の定年退職の年でもあるが、卒論研究は例年と特に変わらず淡々と進められ、3人の学生の指導を滞りなく終えられそうである。プロジェクトに関しては本年度は、高血圧症を自然発症するSHRにヘチマ粉末を混餌投与し、ヘチマには血圧上昇抑制作用があることを明らかにした(卒論テーマの一つ)。		
社会貢献	0.05	沖縄県産食品の安全安心推進計画懇話会の構成員(委員長)として活動を行っている。			0.05	本年は私の定年退職の年である。そのため、年度の前半でその任務を後継者に譲ったが、本懇話会を通して沖縄県の食の安全安心向上に寄与できたことは嬉しく思う。		
管理運営	0.05	動物実験委員(全学)や学部/学科の委員(予算委員、ほか)としての活動など。			0.05	本学に着任以降、約20年間、亜熱帯生物資源科学科の動物実験委員を務めてきたが、いろいろ勉強させていただいたと感謝している。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 一	所 属	農学部亜熱帯生物資源科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	3年次指導教員として、修学、進路についてのアドバイス、支援を行う。研究室の所属学生の修学指導及び研究の指導を行う		0.30	3年次指導教員として、修学、進路についてのアドバイス、支援を行うとともに研究室の所属学生の修学指導及び研究の指導を行った。	
研究	0.30	県内の企業との共同研究で、沖縄産植物や沖縄特産品のカルシウム吸収促進効果に関する研究を行う		0.30	県内の企業との共同研究で、沖縄産植物の新規食利用に関する研究を行い、沖縄特産品の成分がカルシウム吸収に及ぼす影響を調べた。	
社会 貢献	0.20	県内企業と連携して、機能性を有する沖縄特産食品の開発を行う。研究を通じて社会貢献を行う。		0.20	県内企業と連携して、機能性を有する沖縄特産食品の開発を行い、研究を通じて社会貢献を行った。	
管理 運営	0.20	安全衛生委員として、また代議員として大学・学部の管理運営に関わる		0.20	安全衛生委員として、また代議員として大学・学部の管理運営に携わった。	
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		高良 健作	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.30	専門科目の「食品機能化学」および「食品安全化学」では主体的な学修の機会を増やした授業に取り組む。「亜熱帯生物資源科学実験Ⅱ」および「食品機能科学実験」ではグループ実験により能動的な実験に取り組む。また今年度は「情報科学演習」を分担するが「フィールド実習Ⅰ」と共に幅広い体験学習を行う。一方で「卒業論文」や「セミナー」では学生の個別能力に応じた指導を引き続き行う。		0.40	「情報科学演習」「フィールド実習Ⅰ」「亜熱帯生物資源科学実験Ⅱ」では主体的に学ぶ環境づくり、また専門授業「食品安全化学」の一部でグループ学習および発表を取り入れ、積極的に協同学習の機会を取り入れた。「卒業論文」や「セミナー」ではそれぞれの能力に応じた研究指導を行った。
研究	0.40	昨年度から始まった農水省委託プロジェクトを中心に、外部資金を活用した研究を継続するとともに、産学共同研究も積極的に受け入れる。		0.40	農水省委託プロジェクトの他に沖縄科学技術イノベーション受託研究による外部資金を獲得し、活発な研究活動ができた。
社会 貢献	0.20	沖縄県産業振興基金事業「産学官連携推進ネットワーク形成事業」審査委員や、他沖縄国税事務所「泡盛フレーバーホイール作成ワーキンググループ」、また「健康食品管理士会沖縄支部」、「南方資源利用技術研究会幹事」やJICA講師等を通して積極的に社会貢献に努める。		0.10	沖縄国税事務所主催の市販酒類調査の品質評価委員、沖縄県の産学官連携推進ネットワーク形成事業の審査員、その他健康食品管理士会沖縄支部への参加など、社会的貢献を積極的に行った。
管理 運営	0.10	教育委員、URGCC全学委員、進路指導委員、安全衛生委員、および亜熱帯フィールド運営委員に積極的に参画する。		0.10	農学部教育委員、URGCC全学委員、各種の委員へ積極的に参加した。また学部入学前学習では化学を指導した。
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		福田 雅一	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	学部担当科目として分子生物学、遺伝子工学、生物工学、共通教育の生物資源利用とサイエンス、亜熱帯生物資源科学実験、生物機能開発学実験Ⅰ、卒業論文Ⅰ、Ⅱ、生物機能開発学セミナーⅠ、Ⅱ等を担当する。大学院担当科目としては、修士課程の遺伝子工学特論、亜熱帯農学特別演習Ⅰ、鹿児島連大博士課程の応用生命科学基礎特論等を担当する。学部2年次指導教員として学生支援に努めていく。			0.35	学部担当科目の分子生物学、遺伝子工学、生物工学、亜熱帯生物資源科学演習、亜熱帯生物資源科学総論、共通教育の生物資源利用とサイエンス、亜熱帯生物資源科学実験、生物機能開発学実験Ⅰ、Ⅱ、卒業論文Ⅰ、Ⅱ、生物機能開発学セミナーⅠ、Ⅱ等を担当。大学院担当科目は、修士課程の遺伝子工学特論、亜熱帯農学特別演習Ⅰ、鹿児島連大博士課程の応用生命科学基礎特論等を担当。学部2年次指導教員として学生支援等を行った。		
研究	0.35	博士・修士大学院学生の論文指導、および学部学生の卒論指導を行い、卒業に十分な成果を出せるようにする。さらに、農芸化学会等において発表できるような研究成果も目指す。また、過去の研究成果を論文として出版できるようにする。			0.35	博士3年の学生が日本植物学会誌(英文)に1報受理された。博士2年の学生は鹿児島連大分野別セミナーでポスター発表を予定している。学部学生は5名の卒業生を出せる見込みである。		
社会 貢献	0.10	毎年行われるオープンキャンパスや体験アグリサイエンスなどに積極的に取り組み、高校生への研究紹介や実習の指導を行う。			0.10	7月に行われたオープンキャンパスでは、研究紹介や体験アグリサイエンスなどに研究室の学生と積極的に取り組み、高校生への研究紹介や実験の指導を行った。		
管理 運営	0.10	遺伝子組み換え生物等使用安全委員会(学部安全主任)、国際交流委員会、環境・交通・施設等委員会、学術報告編集委員会など全学、学部、学科、講座内の活動に参加していく。各種入学・編入試験等において入試業務に参加する。			0.10	遺伝子組み換え生物等使用安全委員会(学部安全主任)では遺伝子組換え実験の安全審査等、国際交流委員会では留学生の奨学金採用の審査等、学術報告編集委員会では学科の投稿原稿の取りまとめ、環境・交通・施設等委員会、などの活動を行った。センター試験・3年次編入試験等において入試業務に参加した。		
	0.10	卒業予定学生が単位不足などで卒業できないということがないように単位確認について指導行う。研究室の学部4年生の就職もなるべく希望通りになるよう支援・指導していく。			0.10	研究室の学部卒業予定学生の単位は充足しており全員卒業できる見込みである。また進学・就職先(九大農院、琉大農院、沖縄県庁、オリオンビール2名)も希望通りであった。博士課程大学院生については引き続き支援・指導を行っていく。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		小西 照子	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	学部及び大学院の講義を担当し、学部4年生3名の卒業論文作成および卒業後の進路において、指導及び助言を行う。大学院生については修士課程3名および博士課程1名の研究指導に加えて論文作成の指導を行う。また、学生のケアに努める。			0.30	学部および大学院の講義を担当した。特に教職関連の講義を担当し、教員を希望する学生のケアに努めた。また学部生3名の卒業論文作成および修士院生1名の修士論文作成指導を行うほか、学部3年生2名、大学院生修士課程2名、博士課程1名の研究指導を行った。さらに最終学年の学生の進路相談にのるなど、学生支援に努めた。		
研究	0.20	科研費など外部資金の獲得を目指す。研究論文の採択を目指す。			0.20	科研費および学内外の競争的資金を獲得した。共著による研究論文が採択された。また、指導した学生の学会発表を行う(3月)。		
社会 貢献	0.10	県内外の民間企業との共同研究を通じ、地域活性化に役立つ研究を行う。			0.10	県内外の企業と連携し研究費を申請するなど、民間企業との共同研究を積極的に進めている。さらに研究費の審査委員を務めるなど社会貢献の活動を行った。		
管理 運営	0.40	広報・基金担当の学長補佐として大学運営業務に積極的に取り組む。そのほか、全学の男女共同参画委員、ダイバーシティ推進委員、ハラスメント防止対策委員を務め、学部内では教育委員など、委員会活動を通じ、積極的に大学運営に参加する。			0.40	広報・基金担当の学長補佐として大学運営業務に取り組んだ。そのほか、全学の男女共同参画委員、ダイバーシティ推進委員、ハラスメント防止対策委員を務め、学部内では教育委員など、委員会活動を通じ、大学運営に参加した。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高島 幸司	所 属		農学部 亜熱帯生物資源学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト 比(予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	学部担当科目(菌類学、天然物化学、生物機能開発学実験、外国文献講読Ⅰ、セミナーⅠ・Ⅱ)、分担科目(生物資源利用とサイエンス)、大学院担当科目(林産科学特論)を担当する。シラバスに沿った理解しやすい講義を心がける。卒業論文作成のための研究指導を行う。2年次の指導教員を担当する。4年生の就職や進学の進路について相談に応じ、適切に指導を行う。公務員志望者に対して林産関連科目受験の支援を行う。			0.40	学部担当科目(菌類学、天然物化学、生物機能開発学実験、外国文献講読Ⅰ、セミナーⅠ・Ⅱ)、分担科目(生物資源利用とサイエンス)、大学院担当科目(林産科学特論)を担当した。シラバスに沿って授業を展開し、講義中のスライドを資料として配布し、理解向上に努めた。公務員(沖縄県上級林業職)志望の学生には、一次及び二次試験の受験支援を行い、合格した。修士課程進学志望の学生には、専門図書、文献講読により専門知識の習得を支援し、本学修士課程に合格した。		
研究	0.30	学部学生および学外共同研究者と共に日本きのこ学会、日本木材学会で研究発表を行い、研究論文の採択を目指す。書籍の分担部分を執筆する。アジアきのこ会議(韓国)において研究発表を行う。受託研究、奨学金等の外部資金の獲得を目指す。			0.30	日本木材学会、日本きのこ学会、日本建築学会にて4件発表した。日本建築学会技術報告集に論文投稿した。書籍「きのこの生理機能と応用開発展望」(S&T出版)の分担分筆した。沖縄県森林管理課と特用林産物振興新規事業について協議し、同課より沖縄県産きのこ生産強化事業が提案された。沖縄イノベーションシステム構築事業(バガス有効利用法の開発)を分担し、きのこ関連研究を実施した。		
社会 貢献	0.20	沖縄県森林管理課等と協力してきのこ生産並びに特用林産物の販売促進に関する技術相談に応じ、沖縄県の特用林産物の振興に寄与する。日本きのこ学会会長並びに日本木材学会九州支部理事として、その役割を全うすることを通して社会貢献に寄与する。			0.20	平成29年度沖縄県産きのこ消費拡大事業 検討委員会委員長並びに沖縄県産きのこロゴマーク審査委員として、その責任、責務を全うした。日本きのこ学会会長、並びに日本木材学会九州支部理事として、学会活動の運営に寄与した。健康食品管理士会沖縄支部より市民公開講演会の講演を依頼され、遂行した		
管理 運営	0.10	代議員、担当委員として学部における組織の管理運営に参画し、寄与する。			0.10	農学部代議員、入試委員として任務を遂行した。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		橘 信二郎	所 属		農 学 部 亜熱帯生物資源科学科
			職 名		准教授
領域	業務ウエイト比(予定)	平成29年度 年度目標設定		業務ウエイト比(実績)	平成29年度 年度末自己点検結果
教育・学生支援	0.20	学部担当科目(1年次:生物資源利用とサイエンス(オムニバス), 亜熱帯生物資源科学総論(オムニバス), 2年次:食品生物学, 亜熱帯生物資源科学実験III, 3年次:応用酵素学, 発酵生命科学実験, 泡盛醸造学実験, 4年次:卒業論文I, II, 発酵生命科学セミナーI, II), 大学院担当科目(食品生物学特論)を担当する。学部担当講義では, WebClassを積極的に活用する。WebClassの資料を充実させ, 学生の事後学習をサポートする。セミナーでは, 今年度も昨年度に引き続き複数研究室による合同セミナーを開催し, 幅広いディスカッションができるスキルを教授する。研究室セミナーでは, 論文情報の収集方法から論文作成のエッセンスを教授し, 文献紹介では科学的なディスカッションができるコミュニケーションスキルの醸成に努める。学部講義でのアクティブラーニング導入を取り入れる。		0.20	学部担当科目(1年次:生物資源利用とサイエンス(オムニバス), 亜熱帯生物資源科学総論(オムニバス), 2年次:食品生物学, 亜熱帯生物資源科学実験III, 3年次:応用酵素学, 発酵生命科学実験, 泡盛醸造学実験, 4年次:卒業論文I, II, 発酵生命科学セミナーI, II), 大学院担当科目(食品生物学特論)を担当した。学部担当講義では, WebClassを積極的に活用した。WebClassの資料を充実させ, 学生の事後学習をサポートする。セミナーでは, 今年度も昨年度に引き続き複数研究室による合同セミナーを開催し, 幅広いディスカッションができる各種スキルを教授した。研究室セミナーでは, 論文情報の収集方法から論文作成のエッセンスを教授し, 文献紹介では科学的なディスカッションができるコミュニケーションスキルの醸成に努めた。本年度、4年次のセミナー参加率および卒業論文指導において出席率の良くない学生に対する指導を重点的に行った。学部講義でのアクティブラーニング導入は見送った。
研究	0.40	研究成果の国内外の学会で発表する。学術論文での成果発表を行う。競争的外部資金獲得のために他大学や企業との共同研究を推進する。国際的な共同研究を進めて外部資金獲得に努める。平成28年度前期に採択された「沖縄科学技術イノベーション構築事業」の共同研究促進補助金公募へのステップアップを図る。科研費獲得に向けた他大学との共同研究を促進する。研究成果を知財化する。		0.30	国内学会発表1件、学術論文(共著2件、内海外誌1件)。受託研究共同研究1件、企業との共同研究2件、国内大学との共同研究2件、海外大学との共同研究4件。沖縄科学技術イノベーション共同ケンキュウ促進補助金事業への昇格。インドネシア・ボゴール農業大学からの研究員受入れ2件、タイ国カセサート大学からの研究員受入れ1件など海外大学との交流を行った。
社会貢献	0.20	琉球大学オープンキャンパスで実施される「体験アグリサイエンス」の統括責任者として実施運営に関わる。研究成果の情報発信をHPで行う。市民講座、シンポジウム等で積極的に情報発信する。第72回日本栄養・食糧学会運営委員として沖縄県で開催される全国大会の運営に携わる。		0.20	琉球大学オープンキャンパスで実施される「体験アグリサイエンス」の統括責任者として実施運営に関わった。市民講座、シンポジウム等で積極的に情報発信する。第72回日本栄養・食糧学会運営委員として沖縄県で開催される全国大会の運営に携わった。また、第24回日本生物工学会九州支部大会の運営委員として運営に携わった。国内インタビュー記事2件
管理運営	0.20	農学部入試委員、広報委員、農学部本館改修WG分野代表として積極的に大学運営に携わる。		0.30	農学部入試委員、広報委員、農学部本館改修WG分野代表として大学運営に携わった。
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平良 東紀	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	学部科目(講義2科目, 実習3科目, 演習2科目), および大学院科目(講義1科目, 演習2科目)を担当する。特に, 学部の講義の予習・復習のために, 講義のスライドをe-learningのweb siteで学生が見られるようにする。講義の理解度を上げるために「ワークシート」を持ちいる。			0.15	生命科学の講義では, Web class (e-learningシステム) 上に講義のスライドをいつでも学生が見られるようにすると同時に, 講義のより効率的な理解を進めるために, ワークシートを用いた。専門性の高いタンパク質工学の講義でも, 同様にWebclassおよびワークシートを導入するとともに, 本分野の最新の解析手法を学ぶためにPCプログラムを用いた実習を取り入れた。		
研究	0.40	学部および大学院学生と共に研究を行い, 専門分野での学会発表を積極的に行い, 研究論文の採択を目指す。他研究機関との共同研究を行い, 高いレベルの研究論文の採択を目指す。抗カビ酵素の産業化, 泡盛蒸留粕の有効利用, 乳酸菌の応用に関する研究で外部資金の獲得を目指す。			0.40	博士・修士・学部学生および他研究機関との共同研究の成果を学会で7件発表した。これらの成果の一部を国際誌(Biochem Biophys Res Commun., IF=2.47)に投稿し, 1件採択された。「高抗カビ活性酵素の実用化に向けた技術開発」「泡盛蒸留粕乳酸発酵飲料「新美らBio」の高付加価値製品開発」「石垣島乳酸菌で作った、石垣島ジャージー牧場ヨーグルト」「新奇パン種「泡盛酒種」の開発および泡盛酒種/パンの製造」に関する研究で企業と共同で公募研究に応募・採択され外部資金を獲得し, 成果を得た。		
社会 貢献	0.20	高等学校における出前講義等を行う。南方資源利用技術研究会の庶務幹事として, 会の運営を行う。第31回キチン・キトサン学会大会の運営委員長として大会を運営する。			0.25	中高生の部活動振興プログラム(科学技術振興機構主催)において昭和薬科大学附属高校の化学部の研究の指導・アドバイスを行った。第31回キチン・キトサン学会大会の運営委員長として大会を開催した。生物工学会九州支部大会の運営委員を行った。南方資源利用技術研究会の庶務幹事として, 総会・特別講演会および研究発表会・特別講演会を開催した。		
管理 運営	0.20	鹿児島大学大学院連合農学研究科の代議委員として連大の運営に貢献する。全学の研究推進会議・研究企画員, 広報戦略本部の委員, 琉球大学社会連携に関する自己点検・評価委員として大学運営に貢献する。学部の将来計画委員会, 自己評価委員会, 教育委員会の委員として学部運営に貢献する。			0.20	鹿児島大学大学院連合農学研究科の代議委員として会議および連大の各種行事に参加し, 積極的に発言・行動し, 連大の運営に貢献した。全学の研究推進会議・研究企画員として会議に参加・発言し大学運営に貢献した。学部の将来計画委員会, 自己評価委員会, 教育委員会の委員として会議に参加して学部運営に貢献した。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上地 敬子	所 属	農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.40	学部教育では生物資源とサイエンス、外国語文献講読I、亜熱帯生物資源科学実験、発酵生命科学実験、卒業論文、セミナー等を担当する。鹿児島連大の補助教員として学生の博士論文の作成の補助を行う。学生の進学・就職の相談に対して情報提供やアドバイスを行う。		0.40	学部教育では生物資源とサイエンス、外国語文献講読I、亜熱帯生物資源科学実験、発酵生命科学実験、泡盛醸造学実験、卒業論文、セミナー等を担当した。鹿児島連大の補助教員として学生の博士論文の作成の補助を行った。学生の進学・就職の相談に対して情報提供やアドバイスをした。	
研究	0.40	卒業研究の指導を行い、専門分野での学会発表を行い、研究論文の採択を目指す。科研費に加えて、学内および学外の研究資金の獲得を目指す。		0.40	専門分野の学会が主催する若手シンポジウムにて招待講演を行った。研究分担者として学外資金を獲得し、また研究代表者として学外資金1件を獲得した。	
社会貢献	0.10	今年度より地域貢献支援委員として地域のイベント等に積極的に参加していく。		0.10	地域貢献支援委員として地域のイベントの補助を行った。専門分野の学会の一環として、市民向けの公開セミナーを実施し、運営委員を務めた。	
管理運営	0.10	環境・交通・施設等委員会、電算機器室運営委員会、地域貢献支援委員会の委員として、大学の運営に積極的に参加する。		0.10	入試業務や各種委員会に参加し、大学運営に積極的に参加した。	
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	森山 克子		所 属	農学部 亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース	
職 名	准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングに基づいた授業内容とする ・栄養士の現場(保育園、学校等)と関わる取り組みを行う。 ・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。 ・「校外実習」の学外4給食現場選定と調整を行う。 ・担当学年の学生に対しては、個別指導を行う。 	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングに基づいた授業内容を実施した ・栄養士の現場(保育園、学校等)と関わる取り組みを行った。 ・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を附属小学校現場と調整し実施した。 ・「校外実習」の学外4給食現場選定と調整を行った。 ・担当学年の学生に対しては、個別指導を行った。 	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校との連携による共同研究 ・沖縄の家庭料理の調査・研究(日本調理科学学会協同研究) ・給食を活用した食育推進の研究 	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校との連携による共同研究者として研究授業をした。 ・沖縄の家庭料理の調査・研究(日本調理科学学会協同研究)の研究成 果、小麦粉を使った料理等で平成29年2月出版される。 ・給食を活用した食育推進の研究(島尻教育研究所と連携教育の発信をし た) 	
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食品の安全安心懇話会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」 ・大学公開講座「3歳児のための子どもシェフクラブ」の実施 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・栄養教諭10年経験者講習認定講師 ・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭免許更新講習講師 	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食品の安全安心懇話会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」 ・大学公開講座「3歳児のための子どもシェフクラブ」の実施 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・栄養教諭10年経験者講習認定講師 ・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭免許更新講習講師 	
管理 運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次担当教員として学生の管理・指導 ・教育実習、栄養教諭部会長として支援と指導を行う ・南部広域行政組合教育委員会(琉球大学教育学部連携協定事業 委員) 	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の課程認定の準備業務 ・一年次担当教員として学生の管理・指導(月1の勉強会開催) ・教育実習、栄養教諭部会長として支援と指導を行う ・南部広域行政組合教育委員会(琉球大学教育学部連携協定事業委員) 	
計	1.00		1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		